

I. CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業



1. 主な活動実績

いじめ、虐待、連れ去りなどによって、暴力にさらされている子どもたちの報道が後を絶たないが、私たちはCAPプログラムの提供によって、子どもへの暴力を未然に防ぎ、子どもたちの話を聴くおとなを増やしていくために、以下の事業を行った。

①寄付によって CAP プログラムを提供する仕組みづくりとして、「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」事業を引き続き行った。

・29 年度は県内の小学校 20 校 52 クラスの小学生 1593 人に CAP を提供した。

26 年 9 月に開始した本キャンペーンでの受講者総数は、5945 人となった。

・28 年度にかながわ生き生き市民基金「エラベル」プログラムによって支援を受けた 379,695 円を活用した。

また今年度は、新たに 263,700 円を本キャンペーンのために寄付を得た。

②川崎市内での中学生向け暴力防止プログラムについて、川崎市教育委員会と協働し、6 校 25 クラスの中学生 約 1000 人に提供することができた。他にも、継続校 1 校で実施した。

・かわさき市民しきん「あとおし 2016」で支援を受けた 420,493 円を活用した。

・2 月 18 日には、3 度目となる「いのちキャンペーン」のイベントを開催し、川崎駅前と新百合ヶ丘駅前で寄付を呼び掛ける路上ライブを開催。その後福祉パルあさおにて、公開おとな向けワークショップを開催し中学生プログラムを紹介した。これらにより、いのちキャンペーンとして 170,010 円の寄付が集まった。

③行政委託事業として、川崎市から委託を受け小学校 15 校、中学校 1 校で実施した。

④「母校に CAP を贈ろうプロジェクト」を開始し、寄付者が指定した横浜市内の小学校 1 校 2 クラス 80 人および教職員向けに CAP プログラムを実施した。

2. 年間ワークショップ数

188 回を実施。(計画は、218 回)

プログラム	対象	実績	計画
小学生プログラム	おとな向け(保護者)	16	20
	おとな向け(教職員)	1	1
	子ども向け	50	58
中学生プログラム	子ども向け	37	34
	おとな向け(教職員・保護者)	8	8
就学前プログラム	おとな向け(保護者)	0	0
	子ども向け	2	2

CAP キャンペーン	子ども向け(小学生)	52	60
	おとな向け(保護者・教職員)	20	25
母校に CAP を贈ろうプロジェクト	子ども向け(小学生)	2	7
	おとな向け(教職員)	1	3
合計		188	218

※教職員向けは対象が教職員のための開催数とします。

3. 行政委託事業

川崎市教育委員会事業 小学校 15 校 45 クラス 中学校 1 校 5 クラス

4. 「1万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」

概要: 支援者からの寄付 1 万円で交通費等の経費を賄い、1 クラス(40 人まで)の子どもたちとその学校の保護者や教職員に提供する。受講した子どもが 1 万人に達した時点で終了する。(26 年 9 月開始)

対象: 神奈川県内の小学校

クラスごとに子ども向け CAP プログラムを提供する。(1 学年のクラス数まで応募可能)

実施条件: 子ども向け CAP プログラムの他に、おとな向け(保護者または教職員向け)を実施する。

受講した子どもの感想を寄付者に贈ることに協力いただく。

実施校名・受講者数などをエンパワメントかながわの HP 等で公表する。

実績: 29 年度は、以下の 20 校 52 クラスで実施。

本キャンペーン開始からこれまでに 5945 人の小学生が受講した。

- 5 月 9 日 開成町立開成小学校(4 年生 2 クラス)7 月 25 日教職員向け
- 5 月 22 日 横浜市立藤塚小学校(4 年生 2 クラス)5 月 19 日保護者向け
- 6 月 28 日 横浜市立杉田小学校(3 年生 3 クラス)11 月 27 日教職員・保護者向け
- 6 月 30 日 横浜市立さが丘小学校(1 年生 3 クラス)9 月 29 日保護者向け
- 7 月 5 日 横浜市立能見台南小学校(4 年生 4 クラス)6 月 20 日保護者向け
- 7 月 10 日 横浜市立西寺尾小学校(4 年生 2 クラス)同日保護者向け
- 7 月 11 日 横浜市立日野南小学校(4 年生 2 クラス)10 月 10 日保護者向け
- 7 月 19 日 横浜市立東品濃小学校(5 年生 2 クラス)同日保護者向け
- 8 月 31 日 横浜市立笠間小学校(2 年 4 クラス)8 月 30 日教職員向け
- 10 月 17 日 横浜市立市沢小学校(2 年生 3 クラス)同日保護者向け
- 10 月 25 日 横浜市立霧が丘学園小学部(4 年生 3 クラス)同日保護者向け
- 11 月 13 日 横浜市立六つ川小学校(4 年生 2 クラス)11 月 7 日教職員向け
- 11 月 17 日 横浜市立釜利谷南小学校(4 年生 2 クラス)11 月 1 日教職員向け
- 11 月 20 日 横浜市立磯子小学校(4 年生 3 クラス)8 月 31 日教職員向け
- 12 月 4 日 横浜市立あざみ野第一小学校(3 年生 3 クラス)11 月 21 日教職員向け
- 12 月 5 日 横浜市立川上小学校(3 年生 2 クラス)12 月 19 日保護者向け
- 12 月 7 日 平塚市立真土小学校(6 年生 3 クラス)7 月 26 日教職員向け

12月8日 横浜市立万騎が原小学校(3年生2クラス)11月2日保護者向け

12月8日 横浜市立芹が谷小学校(3年生2クラス)同日保護者向け

12月14日 三浦市立初声小学校(3年生3クラス)同日保護者・教職員向け

決算：今年度にCAPキャンペーンに集まった寄付額は、643,395円。前年度期首残高364,568円と合わせて1,007,963円のうち、720,000円を使用したため、残額287,963円を翌期に使用することとする。

26年9月以降29年3月末までの総寄付額は2,937,963円となった。

5. 主催イベント

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月21日(日) 13時～16時	C for C 子どもたちのために、あなたのできることを探しませんか？	井土ヶ谷アーバンデザインセンター	50人
12月10日(日) 17時～19時	第4回 エンパワメントかながわドネーションパーティー 歌って寄付	ゼンカフェマリーナ	12人
2月18日(日) 10時～11時 12時～13時 13時～15時	第3回いのちキャンペーン「川崎から愛をこめて」 路上募金活動 公開おとな向けCAPワークショップ	川崎駅前 新百合ヶ丘駅前 福祉パルあさお	多数 10人

Ⅱ. デートDV予防・啓発事業



1. 主な活動実績

- ① READYFORクラウドファンディング「デートDVは3組に1組。日本中が気づいて繋がるHPを作りたい！」にて、総額2,715,000円の支援を集め、デートDV情報発信サイト notalone(ナタロン)を開設した。
また、「デートDV予防教育実施状況調査」を実施し、WAN基金の助成を受け「デートDV白書VOL.6」として発行した。昨年設立したデートDV防止全国ネットワークとして、6回目となる「デートDV防止スプリング・フォーラム2018」を開催し、125人が参加した。
- ② 日本財団預保納付金助成事業として、「デートDV相談対応専門研修」をプログラム化し、2か所で実施した。
- ③ 日工組社会安全研究財団から助成を受け、「デートDV電話相談事業および電話相談員養成事業」を実施し、4名が修了した。また、年間415件の相談を受け付けた。
- ④ 男女共同参画センター横浜からの委託を受け、横浜市内中学校・高等学校に対し、30回のワークショップを提供した。
- ⑤ ワークショップの提供においては、川崎市人権・男女共同参画室、かながわ男女共同参画センター、東京都目黒区などから委託を受けて中学校・高等学校・大学で実施した。

2. 年間ワークショップ数

146 回を実施。(計画は 135 回)

	対象	実績	計画
男女共同参画センター横浜	中学生向け	12	30
	高校生向け	14	
	教職員向け	4	
かながわ男女共同参画センター	高校生向け	1	4
	大学生向け	4	
川崎市(男女共同参画センター・人権男女共同参画室)	高校生向け	3	5
	大学生向け	1	
その他	中学生向け	2	46
	高校生向け	31	
	大学生向け	4	
	おとな向け(教職員等)	20	14
養成講座	相談員・実施者(基礎研修・中学生向け・高校生向け・大学生および教職員向け・フォローアップ)・相談対応専門研修	38	28
リボン・プロジェクト	高校生向け	12	8
合計		146	135

3. 行政委託事業

①男女共同参画センター横浜「デートDV防止啓発」事業

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜)より委託を受け、横浜市内の中学(11校)、高校(9校)、特別支援学校(2校)において生徒向けワークショップを実施し、合計約 4,500 人が受講した。

②神奈川県立かながわ男女共同参画センター「デートDV防止講座」事業

かながわ男女共同参画センターより委託を受け、県内の高校1校、大学 4 校において、約 800 人の高校生と大学生に、デートDV予防ワークショップを実施した。

③川崎市男女共同参画センター委託事業

川崎市男女共同参画センターより委託を受け、高校 1 校およびすくらむ 21 においてワークショップを実施し、約 170 人の高校生と大学生が受講した。

④おとな向け講演会および研修事業

熊本県、山梨県、埼玉県、長野県塩尻市、川崎市などから委託を受け、おとな向けの講演会および教職員向け研修を実施した。

4. 助成金事業

①日本財団預保納付金にかかる助成金事業「デートDV相談対応専門研修および広報強化事業」

デートDVに起因する犯罪被害を減らすために、予防教育を普及すると共に、被害者対応できる人材を増やしセーフティネットを広げることで、デートDV防止体制を築くことを目的とし、今年度は、デートDVについての相談対応を適切に行う人材を育成する事業と共に、継続して普及啓発を行うために、広報強化事業を行った。

(1)デートDV相談対応専門研修事業 デートDVの相談対応について、教職員やスクールカウンセラーなどの専門職を対象に、少人数で徹底的に演習する4つのコースをプログラム化し、10月と1月に開催し、14人が全コースを修了した。

(2)スキルアップ研修事業 講師のスキルアップと次世代の育成のために、全国シェルターシンポジウムや日本子ども虐待防止学会などに、延べ40人が参加した。

(3)広報強化事業 株式会社パブリコによるワークショップを開催し広報力の強化を図るとともに、デートDV啓発サイトのリニューアル、facebook 広告などを行った。

(4)デートDV防止スプリング・フォーラム開催事業 デートDV防止全国ネットワークとして6回目となるデートDV防止スプリング・フォーラムを開催した。

決算:

収入	助成金	4,850,000	支出	諸謝金	2,494,100
	自己資金	37,863		交通費	458,470
				委託費	1,104,000
				所費	831,293
収入合計		4,887,863	円	支出合計	4,887,863
					円

②公益財団法人日工組社会安全研究財団助成金事業「デートDV電話相談事業および電話相談員養成事業」

電話相談員を養成するため、かながわコミュニティカレッジ連携講座として、電話相談員養成講座を開催し、4人が修了した。引き続き2回線対応で週2回(毎週火曜日夜3時間土曜日午後4時間)実施したところ、年間415件の相談があった。

決算:

収入	助成金	1,492,000	支出	人件費	882,000 (雑給他)
	参加費	120,000		通信費	271,781
				謝金・交通費	487,862
	自己資金	315,711		所費	286,068
収入合計		1,927,711	円	支出合計	1,927,711
					円

③WAN(ウィメンズアクションネットワーク)基金助成金事業「デートDV予防教育の実施状況調査およびシンポジウム開催事業」

全国のデートDV予防教育の2016年度の実施状況を調査し、25団体から回答を得た。これをデートDV白書VOL.6として発行した。また、日本子ども虐待防止学会ちば大会にてシンポジウムを開催し、虐待防止策としてのデートDV予防教育の意義を発表したところ、100名を超える参加者があった。

決算:

収入	助成金	140,000	支出	諸謝金	80,000
	自己資金	17,350		印刷製本費	77,350
収入合計		157,350 円	支出合計		157,350 円

5. 主催イベント・講座

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
4月23日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	4人修了
7月22日(土) 9時30分～16時30分	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	ウィリング横浜	5人修了
8月18日(金) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	かながわ県民センター	14人修了
8月19日(土) 10時～19時	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座1日目	かながわ県民センター	3人
9月2日(土)・3日(日)・10日(日)・13日(水)・20日(水)・23日(日)	デートDV電話相談員養成講座 (かながわコミュニティカレッジ連携講座)	かながわ県民センター	4人修了
9月16日(土) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	18人修了
9月17日(日)・18日(祝) 10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	かながわ県民センター	6人修了
10月8日(日)・9日(祝)10時～17時	デートDV相談対応専門研修	かながわ県民センター	9人修了
10月22日(日) 10時～17時	デートDV予防プログラム実施者養成講座修了者向けフォローアップ研修	かながわ県民センター	4人
12月23日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	14人修了
1月20日(日)・27日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修	協働ステーション中央	5人修了
3月18日(日) 10時～17時	デートDV防止スプリング・フォーラム2018	日本財団ビル	125人

Ⅲ. 各種人権啓発事業



1. 主な活動実績

①すきっぷ(子どもの護身法)プログラム

- ・横浜市西区より委託を受け、区内小学校 3 校 10 クラスで子ども向けプログラムを実施した。
- ・継続校 3 校での 1 年生と保護者向けプログラムを実施した。
- ・新規保育園 1 園で、子ども向けプログラムを実施した。
- ・逗子市からの依頼で公開講座 1 回を開催した。
- ・横浜市港南区社会福祉協議会「こうなんふれあい助成金」にて、公開講座を 1 回開催し、さらに港南区内で 1 回実施した。
- ・横浜市緑区地域振興課からの依頼で「子ども向け防犯ワークショップ」として公開講座を 1 回開催し、さらに緑区内で 1 回実施した。

②特別支援学級に通う子どもへの暴力防止(ほっと)プログラム

- ・知的障がいのある子ども向け入所施設で、小学生向けと中高生向けを実施した。中高生にはデート DV 防止をテーマに取り入れた。

③子育てがラクになるワークショップ

- ・東京都中央区との協働事業として、区内子育て支援拠点 3 か所にて、保護者向け 7 回および職員向け 1 回を実施した。

④虐待予防の保育士研修

- ・神奈川県から依頼を受け、保育士向けの研修 1 回を実施した。

⑤各種人権啓発プログラム

- ・神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修を実施した。
- ・川崎市男女共同参画センターからの委託を受け、女性のためのサポートグループにて4回事業を実施した。
- ・下記から依頼を受け子どもの人権を守るための研修を実施した。
県西教育事務所および県央教育事務所(教職員向け)・横浜市経済局(職員向け)・二宮町(人権擁護委員向け)・二宮中(教職員向け)
- ・寒川町から依頼を受け、一般市民向けのアサーション講座を実施した。
- ・こころの電話金沢から依頼を受け相談員向けに、K2インターナショナルから依頼を受け保護者向けに研修を実施した。
- ・中井町から依頼を受け、中学生向けに暴力防止ワークショップを実施した。
- ・韓国から来日したウスク大学の学生を対象に、児童虐待防止策について講演した。

2. 年間ワークショップ数

74 回を実施。(計画は、68 回)

		実績	計画
すきっぷプログラム	子ども向け 保護者向け	32	30
ほっとプログラム	子ども向け、職員向け等	2	2
子育てがラクになるワークショップ	保護者向け、職員向け	8	10
その他各種人権プログラム	教職員等（サポートグループを含む）	26	20
	EK セミナー	6	6
合計		74	68

3. 行政委託事業

①神奈川県教育委員会校内人権研修事業

神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修として参加体験型研修を 13 校 14 回実施した。

4. 助成金事業

①こうなんふれあい助成金

港南区社会福祉協議会より助成金を受け、すきっぷ(子どもの護身法)プログラムの普及を目的に、公開講座を開催した。港南区内の幼稚園、保育園に広報し、就学前の子ども 11 名と保護者が参加した。

決算:

収入	事業収入	5,500	支出	諸謝金	28,000
	自己資金	1,008		交通費	5,984
	助成金	44,000		所費	21,388
収入合計		55,372 円	支出合計		55,372 円

②女性のためのサポートグループ相談 委託事業

川崎市男女共同参画センターすくらむ21からの委託で、DVIに悩む女性を対象とした、全 4 回の研修事業を行った。参加者、専門相談員延べ 34 名が参加した。

決算:

収入	委託金	180,000	支出	諸謝金	126,000
	自己資金	3,110		交通費	11,704
				所費	45,406
収入合計		183,110 円	支出合計		183,110 円

5. 主催イベント

エンパワメントかながわ活動報告会(EK セミナー2017)

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月12日(金)	子育てがラクになるワークショップより 人とつながり、悩みを共有してラクになる大切さ	かながわ県民センター 11 階コラボスタ	6 人
7月7日(金)	デートDV 予防プログラムより 10 代への予防啓発を体験しよう	ジオ	8 人
9月8日(金)	障がいのある子どものための暴力防止(ほつ と)プログラムより 障がいのある子どもが安心でいるために	いずれも 18 時 30 分～20 時 30 分	6 人
11月17日(金)	CAP(子どもへの暴力防止)プログラムより CAP ワークショップを体験しよう		8 人
1月19日(金)	子どもの護身法(すきっぷ)プログラムより 子どもを守るために伝えていること		6 人
3月23日(金)	エンパワメントかながわ 2017年度活動のまとめ		8 人

IV. 広報事業

1. ホームページとの連携による情報発信

- ・団体 HP と啓発サイトの最新ニュースを随時更新し、そのニュースを Facebook ページ、インスタグラム、twitter 等の SNS と連携することで発信の拡大を行った。
- ・月 1 回のメルマガを HP のニュースと連携させ、メルマガ購読者へ配信した。

2. 集客と寄付獲得のために WEB 広告を活用

- ・Facebook 広告と Google Ad Grants(Google for Nonprofits プログラム向け AdWords、オンライン広告費を助成)により全国に向けて講座やイベント告知行い、集客につながった。
- ・従来の実施者養成講座および CAP キャンペーンに加え、新たに「いのちキャンペーン」のランディングページを団体 HP 内に作成。広告との連携を高めることにより寄付や会員獲得につながった。

3. プレスリリースの配信とメディア掲載

- ・プレスリリースの配信により、複数のメディアに取り上げられ、注目度が上がった。
リリース配信3回: notAlone サイト告知、デートDV 防止スプリング・フォーラム 2018
掲載メディア: 東京新聞、神奈川新聞、しんぶん赤旗等
- ・取材協力、監修等によりメディアに掲載された。

4. 啓発サイトの運営

- ・デート DV110 番相談サイトより、デート DV に関するイベント告知等の情報を発信した。
- ・デート DV 予防啓発サイト「それってデート DV なんじゃない？」のパソコンサイトおよび携帯サイトを運営した。
また、サイト「それってデート DV なんじゃない？」をリニューアル(平成 30 年 3 月 28 日よりアップ)し、最新ニュースの更新作業を行った。
- ・デート DV 情報発信サイト「notAolne」を 2 月にオープンし、投稿ページの更新作業を行った。

<アクセス数>

- ・団体 HP: 平成 29 年度 ページビュー(49,578 件)
(平成 28 年度 44,000 件、平成 27 年度 24,000 件、平成 26 年度 29,000 件、平成 25 年度 34,800 件、平成 24 年度 5,200 件)
- ・デート DV110 番相談サイト: 平成 29 年度 ページビュー(24,021 件)
(平成 28 年度 65,000 件、平成 27 年度 15,000 件、平成 26 年度 4,800 件)
- ・デート DV 予防啓発サイト PC 版: 平成 29 年度 5,695 件(旧サイト)⇒10 年間 37 万件
(平成 28 年度 12,000 件、平成 27 年度 45,000 件、平成 26 年度 57,000 件、平成 25 年度 61,000 件、平成 24 年度 38,000 件)
- ・デート DV 予防啓発携帯サイト: 平成 28 年度 110 件
(平成 28 年度 210 件、平成 27 年度 500 件、平成 26 年度 1,800 件、平成 25 年度 5,200 件、平成 24 年度 10,500 件)

5. デート DV 予防啓発のためツール制作の依頼を受け作成

- ・相模原市より「デート DV 予防啓発カード」14,410 枚
- ・東京都中野区より「びいまいせるふ」1,200 部
- ・東京都足立区より「デート DV の基礎知識」4,000 部
- ・長野県塩尻市より「びいまいせるふ」1,000 部

6. 県内外のパネル展示の場を活用し団体を紹介

エイズ文化フォーラムおよび子ども虐待防止学会(JaSPCAN)千葉大会にて、活動紹介の展示と冊子販売、チラシ配布等を行った。

V. リボン・プロジェクト



1. 趣旨

暴力のない社会を目指していくために、エンパワメントかながわが特に必要であると考えた子どもたちにワークショップを提供していく「リボン・プロジェクト」。趣旨に賛同してくださった方からの寄付金、会員の意思で捻出した資金等を活用する。団体 HP に実施報告を掲載し、広く知らせる。

2. 実施報告

①高校生(定時制)へのデートDV 予防プログラム及び教職員研修の提供

1～4年生の生徒全員に対しデートDV 予防プログラムを実施することにより、「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通し人と人とお互いに大切にしたい関係であるためにできることを考えた。事前に打ち合わせに行ったのち、当日開始前に1時間の教職員研修(参加12人)を教職員マニュアルと事例を使って行った。

日時:29年7月19日

場所:神奈川県内高等学校

参加者: 高校1～4年生 43人および教職員

支出: 33,158円

②高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位でのデートDV 予防プログラム(50分×2回)を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしたい(尊重したい)関係であるためにできることを考えることができた。

日時:29年10月17日

場所:神奈川県内高等学校

参加者: 高校2年生 77名

支出: 18,339円

③高校生へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位での2日間のワークショップの中で、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしたい(尊重したい)関係であるためにできることを考えることができた。

日時:29年11月8日・10日、12月13日・15日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校1年生 215人

支出:100,653円

④高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

1・2年生合同でデートDV 予防プログラムを実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通し、人と人とお互いに大切にしたい関係であるためにできることを考えた。

日時:29年11月22日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:1年生 27人、2年生 23人

支出: 18,339円

⑤高校生(定時制)へのアサーティブコミュニケーションプログラムの提供

2 学年対象に自分の感情を大切にしながら、人を傷つけない方法や人に思いを伝える方法を伝えるため、アサーティブコミュニケーションを取り入れた。言葉のやりとりがキツイということだったので、ビーチボールでキャッチボールを見せるなど工夫をして進めた。

日時:30 年 1 月 31 日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校 2 年生 17 人

支出:15,147 円

⑥外国にゆかりのある中学生(フリースクール)へのデート DV 予防プログラムの提供

家族の都合により来日し、不安を抱えていると思われる生徒たちに向けて、日々の生活の中でまず「自分を大切にすること」についてデート DV 予防プログラムを使って伝えた。

日時:30 年 2 月 15 日

場所:横浜市内

参加者:在日1年以内で高校受験をした 27 人(16~19 歳)

支出: 15,979 円

VI. 事務局

1. 29 年 9 月 28 日神奈川県に、特定非営利活動法人指定更新の申出を提出し、30 年 4 月 1 日から 35 年 3 月 31 日まで指定有効期間が更新された。
2. 30 年 3 月 1 日臨時総会を開催し、事務所移転およびそれに伴う定款変更について決議し、3 月 9 日神奈川県台町に移転した。
3. 29 年度賛助会費は個人 56 口、団体 3 口 29 年度正会員は 22 名となった。
4. 毎月 1 回運営会議を開催した。

開催実績 29 年 4 月 5 日・7 日、5 月 8 日、6 月 7 日、7 月 5 日、8 月 1 日、9 月 5 日、10 月 5 日
11 月 6 日、12 月 13 日、1 月 10 日、2 月 10 日、3 月 11 日

5. ヴィジョンミーティングを月例会議として開催した。

開催実績 29 年 4 月 19 日、5 月 12 日、6 月 15 日、7 月 20 日、8 月 9 日、9 月 1 日、10 月 4 日、
11 月 29 日、平成 30 年 3 月 1 日、4 月 11 日

また、株式会社パブリコに委託し、ロジックモデル作成のワークショップを開催した。

平成 29 年 6 月 1 日、6 月 7 日、6 月 29 日、7 月 31 日

6. 理事会開催実績

29 年 5 月 21 日 第 1 回理事会 井土ヶ谷アーバンデザインセンター

8 月 3 日 第 2 回理事会 かながわ県民センター708 号室

10月21日 第3回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ
12月24日 第4回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ
30年2月15日 第5回理事会 かながわ県民センター 706号室
3月25日 第6回理事会 かながわ県民センター 707号室
4月28日 第7回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ